

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「JAPAN倉庫」は、岡田建設株式会社が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「JAPAN倉庫」を宜しくお願いたします！

 **JAPAN倉庫** 岡田建設株式会社
〒080-0011
北海道帯広市西1条南29丁目1
TEL : 0155-25-4111
FAX : 0155-25-4115

2022年度 事業再構築補助金の継続が決定

2022年度の補正予算案にて、事業再構築補助金は約6,100億円で継続することが決まりました。

中小企業で最大1億円の補助額があり、建物の建設費、建物改修費、撤去費が補助対象経費に含まれます。（中堅企業は最大1.5億円です。）

[2022年度の補正予算案詳細はこちら](#)

2021年度の採択事例では、早期の事業計画づくりや認定支援機関との連携によって、数千万円の補助金を活用し計画を進めている会社が数多くあります。

今回は、事業再構築補助金の申請のすすめについてご紹介します。

第1～3回の採択者の分析

第1～3回までの採択結果では、申請20,307～22,231者に対して採択者8,016～9,336者（採択率36.1～44.9%）です。

製造業が全体の21.8～31.7%と最も多くなっていますが、第1～3回で製造業の採択割合が減り、卸売業・小売業、建設業の採択割合が増える傾向が続いています。

採択額100～1,500万円の割合が全体の5割程度が続いていますが、第3回では少額な採択者が減り高額な採択者が増えています。

2022年度の事業再構築補助でも、過去の採択者との偏りをなくすよう調整される可能性が考えられます。

また、第1～3回までの採択者の事業計画名で、注目されるキーワード（EC、テイクアウト、ブランド、レンタル、プラットフォーム、ワーケーション、デリバリー、ドローン、非接触、リサイクル、通販、シェア、セルフ、IoT、WEB、サブスクリプションなど）は、事業再構築の鍵となる手法と考えられます。



事業再構築
補助金



事業再構築補助金のイメージ

事業再構築補助金の申請と新規事業のポイント

「事業再構築補助金」申請のポイントは、以下が挙げられます。

〈採択されやすい申請方法のポイント〉

- ・業種転換、事業転換が分かりやすい事業は可否が判断しやすくなります。
- ・資金は、資金調達計画をしっかりと説明する必要があります。
- ・審査員が理解しやすい表現を用いたほうが良いです。
- ・事業再構築補助金の要件は、今一度確認の上、不備がないかチェックします。
- ・「事業再構築補助金」では、実現可能性が高い事業計画が必要です。
- ・事業計画に会社全体の売上計画も検討する必要があります。

また、失敗しない新規事業のポイントは、以下も参考としてください。

〈新規事業のポイント〉

- ・より利益率の高い業種を選んだ方が、経営者も社員も楽になります。
- ・既存の人財を活かし、人数のかからない事業の方がスタートしやすいです。
- ・新たな商品・サービス・商圏より、本業に近いビジネスから取り組んだ方が、成功する可能性は高いです。

まとめ

事務局では、「売上高10%要件や売上高構成比要件を達成できなかった場合、補助金の返還義務はない」としています。

これは、事業計画の達成に向けて責任をもって取り組むことを前提としながらも、コロナ不況で経営難にある企業へ新たなチャレンジを求める救済措置であると考えられます。

自社あるいはお客様（施主）でも十分に採択の可能性はありますので、皆さまも、関係者に「事業再構築補助金」の申請をご相談してみてもはいかがでしょうか？

ご都合に合わせて会社にお伺いします！

【完全個別予約制】【常時マスク着用】【手指の消毒】【社会的距離】などの
コロナウィルス対策を徹底しております。ご安心してお問い合わせください。



dasu@okadajnet.co.jp

www.japan-souko.com



TEL:0155-25-4111